



更新した解説板と「奥の富士」石碑

〔メモ〕

(1) 整備の経緯

- ・ 2009(H21)/05/17 尾根道～石碑間刈払い
- ・ 2013(H25)/06/24 同上区間刈払い
- ・ 2013(H25)/11/04 石碑から谷沿い区間刈払い
- ・ 2014(H26)/07/21 石碑脇に解説板と谷沿い区間前後に制札設置及び刈払い
- ・ 2015(H27)/05/24 刈払いと倒木処理

(2) 今回作業の内容

- ① 解説板の更新（雪害により破損のため）
 - ② 谷沿い区間の通行止め措置（制札とロープ設置）
- ※ 谷沿い区間に落石、落枝、倒木の危険性が高まったため、一般登山者の安全確保のため通行止めを行うこととしたもの。

『改所』跡

この場所は霊峰神域への入口として、お山参詣の人々が俗界の汚れを落とし心身を清めた場所です。
大正初期まで小屋掛の「改所」があり、お山越（入山料）を収める場所でもありました。脇には湧泉もありましたが、戦後間もないころに枯涸したと伝えられます。

『奥の富士』碑

碑の裏に「奥の富士 国家安全 五穀成収」、右側面に俳句、左側面に漢詩、背面には「文政二乙卯・・・」の刻みがあります。
右側面の俳句は漢字解釈に疑問もありますが、右神の表記と推定されます。読み方については、山岳研究者・高瀬式（たかとうしやく）が、次のとおり記録しております。
「時しらぬ こも書あり 奥の富士」
※「奥の富士」は「岩手山」の誤植か？
なお、左側面の漢詩については、削みが風化して判読できません。
文庫には「雄峰の霊峯 露石門扉色 通以天香天香色 似雪若手之標額」と刻まれている旨の記録がある

（取受名一）所改口洋柳岡盛

小室の右手にある石碑が保存する「奥の富士」碑と想われる

2017/05 更新：岩手山地区パークボランティア連絡協議会（郵便ビジターセンター内 TEL019-693-3777）

解説板の文面

「奥の富士」石碑は文政二年（1819）建立であり、岩手山信仰登山の歴史を伝える貴重な文化財である。この石碑には多くの謎があるが、解明出来ていない。



改め所跡付近

（今回整備終了後の状況）

【今回設置の制札とロープ及び案内板】



沢沿い分岐点
制札設置、侵入防止ロープ設置



石碑前
同左



尾根からの分岐点
案内板設置

【作業状況】

《板や杭の製作》

H29/05/19 AM 家子、阿部

材料購入、加工



H29/05/19 PM 米田、家子、工藤、阿部

塗装作業



《設置作業》 H29/05/23AM



沢治い分岐点

作業参加者 7名

米田、岡野、三上、米澤
民部田、今宮、阿部





改め所跡、石碑周辺



設置完了した解説板と石碑脇で記念撮影



尾根からの改め所跡への分岐点にて